

## 臨床データー使用に関するお知らせ

『研究課題名； 看護職による術後訪問時に作成した患者データーを解析し、術後疼痛対策を行う。』

### 【研究の背景および目的】

術後疼痛は離床を妨げ血栓症やせん妄の発生リスクをあげることが知られています。そこで、東邦大学医療センター大森病院周術期センターでは、術後鎮痛を多職種からなるAPSチームで行っています。術後鎮痛がしっかり行われているかを評価する目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、より良い術後鎮痛戦略につながります。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2017年10月～2018年9月までに東邦大学医療センター大森病院において手術を受けられた患者さん約8000例を対象とします。

診療録(カルテ)から抽出した疼痛スケールと鎮痛薬により起こる副作用の解析することにより、術式別疼痛対策を検討します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

周術期センター

職位・氏名 副センター長 寺田享志

電話 03-3762-4151 内線 77295